

大切にします、わたしのは

印西市立高花小学校 三年 杉森 結有

わたしには、今年を大切にしたいと思っ

た「はの事けん」が二つあります。一つ目は、

学どうでおいごっこをしていて、コンクリー

トの上ですべてころんでしまい、前ばをぶ

つけてしまった時でした。すぐいたがつて

いるわたしに、友だちがわたしのけがをみて

「はがおれているよ。」

と言いました。それを聞いた時にわたしは、

はがおれておこられると思つたのと、大きな

けがは、はじめてだったのでびっくりして、

ずっとないていました。「ずっとこのはは、

おれたままかな。」と思ひました。先生と友だ

ちがおれたはをさがしてくれて、それを持っ

て夕方にはいしやに行きました。持って行っ

たはをはいしやさんに見せたら

「そのはは、小さくてつかないけど、はに見

えるようになおしてあげるよ。」

と言つてくれました。今では、よく見ないと

おれているかは、分かりません。でも、大人になってもなおらないのと、毎月一回はいしやに見せに行かないといけなくなりました。ほかのはは、大切にしたいと思います。二つ目の事けんは、夏休みにおきました。わたしには、96さいのひいおばあちゃんがいます。おばあちゃんの家におそびに行つた時に、ひいばあちゃんは、ごはんを食べにくそうにしています。口の中に入っている物が気になり、ひいばあちゃんのはがとれてしましました。それを見て弟がびっくりして、「え、なにしているの。」と、聞いていました。そうしたらひいおばあちゃんか、

「おばあちゃんのはは、取れるんだよ。」

と言つて、いればを取っていました。いればは、食べにくそうでした。わたしは、これら二つのできごとを通して、自分の歯を一本もなくしたくないと思ひました。そのため、はみがきをして自分のはを守り続けたいです。